

まつやま文化人

子規さんと松山

ようおいでたなもし
Namoshi 2011.Spring
No.12

(財)松山観光コンベンション協会

季節を感じ、松山を感じ、
そして歴史を感じる



萬翠荘

東北地方太平洋沖地震で被災された地域の皆様、関係の皆様に、
お見舞い申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

■松山のまちに息づく子規ごころ

松山が生んだ俳人・正岡子規。その生涯は壮絶なものでしたが、彼は大きなものを世に残しました。俳句の世界においては、革新的な「写生」の俳句を確立します。「写生」とは、作者の気持ちやそのときの様子が想像できるような分かりやすい表現をすることです。

子規は、34年余りの生涯に、俳句約2万4千句、短歌約2千5百首の他、小説、漢詩、隨筆、新体詩、論説、書画、往復書簡の他に、俳諧研究の原稿など莫大な作品や資料を残しました。

松山には、子規のこころが俳句や短歌として数多く残っています。子規が句を詠んだ頃に想いを馳せながら、市内に点在する句碑や歌碑を巡るのも、子規の俳句の楽しみ方のひとつです。

▶明治28年10月6日、天気の良い日曜日。子規が漱石と道後へ吟行したときの句です。このとき宝厳寺にお参りをしたようです。宝嚴寺は、二遍上人生誕の地といわれています。

色里や十歩はなれて秋の風

MAP①

城山の浮み上るや青嵐

MAP②

▶この句碑がある井手神社では、毎年7月に天神祭が行われています。

薰風や大文字を吹く神の杜

MAP③

新立や橋の下より今日の月

MAP④



人気者の子規さん!

たくさんの仲間たち

子規の周りにはいつも人が集まっていました。高浜虚子や河東碧梧桐など、子規が開く句会には多くの弟子たちが来ました。親分肌の子規は、弟子たちの才能を育てるに長けていました。



写真提供：松山市立子規記念博物館

子規さんの志を受け継ぐ

高校生の熱き戦い！ 俳句甲子園

俳人・正岡子規や高浜虚子を輩出した松山は、俳句と文学のまち。毎年8月、全国各地の高校生が「俳都・松山」に集い、熱い“ことばのバトル”を繰り広げます。試合は大街道商店街の特設ステージなどで行われ、誰でも気軽に観ることができます。

●お問い合わせ:NPO法人俳句甲子園実行委員会 ☎089-943-1512



春や昔十五万石の城下哉

▶明治28年に詠まれた句で、松山のシンボルになっている句です。

三津口を又一人行く拾哉

MAP⑤

朝寒やたのもと響く内玄関

MAP⑥

▶「朝寒」は秋になつて朝冷氣を感じることで、秋の季語です。

▲三津街道を、また一人拾せ着の軽装の人が通っているのを見つけた、という句意でしょうか。「拾は夏の季語。現・萱町六丁目電停は、当時は三津口といいました。

くれなるの梅ちるなへに故郷につくしつみにし春し思ほゆ

MAP⑦

▶明治35年、東京で子規は、梅やつくりに故郷松山のことを思い浮かべたのでした。

牛行くや毘沙門坂の秋の暮

▶明治35年、東京で子規は、梅やつくりに故郷松山のことを思い浮かべたのでした。

MAP⑧

▲今のロープウェイ通りは昔は毘沙門坂と呼ばれていました。

子規さんと松山

「野球」ということばを自分のペンネームにした子規

子規が東京大学予備門に入学した頃、学生の間で「ベースボール」が流行していました。興味を持つと徹底的にやるという性格も手伝って、子規は「ボール狂」と言われるほどに夢中になりました。

子規は新聞でベースボールを紹介し、訳語をつけています。彼は「弄球」と訳しましたが、一般的にはあまり使われませんでした。しかし、自身のペンネームで「野球(のぼーる)」という漢字を使っています。ベースボールが「野球(やきゅう)」と訳されたのは明治28年のことでしたが、その5年前から子規は「野球」ということばをペンネームとして使用していたのです。

明治22年の夏、東京から帰省した子規は、松山に初めて野球を伝えました。子規は野球に熱中するあまり「ベースボールほど愉快に満ちたる戦争は他にならない」と「筆ませ」で書いています。正宗寺(子規堂)にはこの歌が刻まれた「子規と野球の碑」が建てられています。

今やかの三つのベースに人満ちて
そぞろに胸のうちさわぐかな
うちはづす球キヤツチャーの手に在りて
ベースを人の行きがてにする



正宗寺(子規堂) MAP⑩

子規が訳した野球用語

フルベース	ホームベース	ストレート	フライ	ランナー	バッター	ライト	センター	レフト	ショート	サード	セカンド	ファースト	ピッチャーキャッチャー
-------	--------	-------	-----	------	------	-----	------	-----	------	-----	------	-------	-------------

満基	本基	直球	飛球	走者	打者	場右	場中	場左	短遮	第三基人	第二基人	第一基人	投者
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	------	------	------	----

満壘	本壘	直球	飛球	走者	打者	右翼手	中堅手	左翼手	遊撃手	三塁手	二塁手	一塁手	投手
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

現在の野球用語

子規の訳語

現在の訳語

野球王国松山がわかる 野球歴史資料館 の・ボールミュージアム

正岡子規のペンネーム「野球(のぼーる)」にちなんで名付けられた野球歴史資料館。バッター姿の等身大子規像があります。子規は平成14年に野球殿堂入りを果たしています。



- 住所: 松山市市坪西町625-1 ●☎089-968-6660
- 開館時間: 9時~17時 ●入館無料
- 休館日: 月曜(祝日の場合は翌日)

子規が訳した「打者」「走者」「飛球」は、現在でも使用されています。

ユーモアあふれる “のぼさん”

感受性豊かで、ユーモアにあふれた子規は、皆から親しみを込めて“のぼさん”と呼ばっていました。おもしろい自分のペンネームをいくつも作っています。また、文学だけでなく絵を描くことも大好きでした。病床では草花や果物など様々なものを写生しています。

写真提供：松山市立子規記念博物館



子規さんの パンネーム

おもしろい
当て字に注目!!



じょうきほんぶ
常規凡夫
(子規の本名が常規)
つねのり
のほる
野暮流
(子規の幼名が升)
のほる
まさおか
真棹家
しき
子規
つねのり
都子規

めんどくさい
面読斎
うきよゆめのすけ
浮世夢之助
う や む や まんし
有耶無耶漫士
しゅうふうらくじつしゃしゅじん
秋風落日舎主人
しこくせんにん
四国仙人
う か れ だるま
迂歌連達磨

ふすい
燕翠
しきしんじょうぶつ
色身情佛
たけのさとびと
竹ノ里人
だっさいしょおくしゅじん
獭祭書屋主人
はなぬ すひと
花ぬす人
こうぎんどうじ
好吟童子

正岡子規を知り尽くすなら**子規記念博物館**

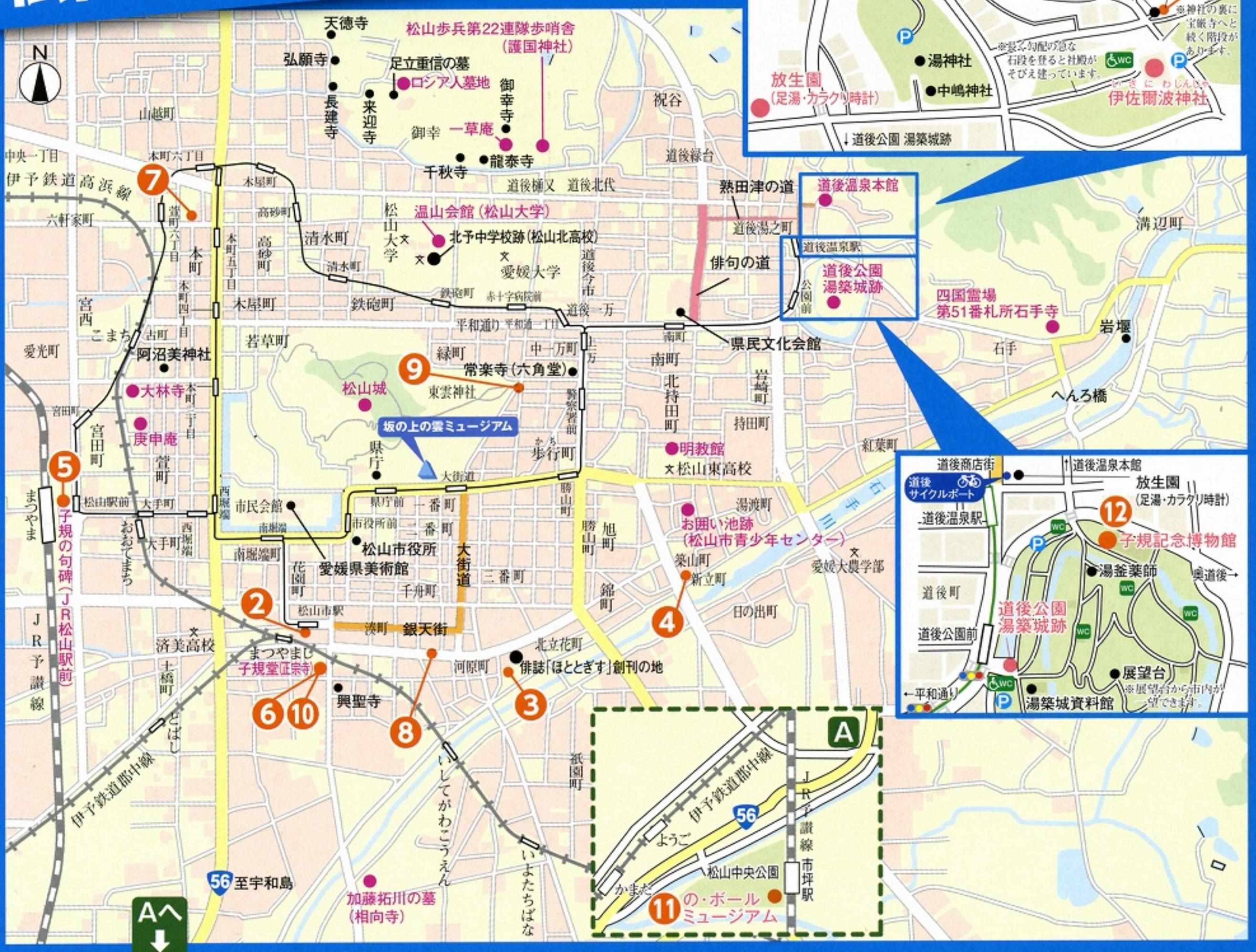
近代俳句の父と言われる、正岡子規の生涯や業績を紹介しています。子規の世界を通して松山の文化に触れることができます。館内には漱石と52日間共に暮らした「愚陀佛庵」の復元もあり、当時の二人の暮らしを垣間見ることができます。

- 住所:松山市道後公園1-30
 - ☎089-931-5566
 - 開館時間:9時~17時(5~10月は~18時)
 - 入館料400円
 - 休館日:月曜(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日



参考資料：「伝記 正岡子規」、「俳句の里 松山」、
「松山観光文化コンシェルジェ検定ガイドブック 第二版」

子規さんめぐりをしてみよう! 松山市周辺マップ



松山イベント情報

2011年3月~

開催日	イベント名	内 容
3/26(土)~5/15(日)	地球最古の恐竜展	四国・松山に最古の恐竜初上陸!! 地球最古の恐竜「フレンギエリサウルス」や、ワニ類・ほ乳類の祖先など、世界初公開 16 件を含む約 23 種 80 件をまとめて紹介します。 開場時間 / 10:00 ~ 17:00 (入場は 16:30 まで) 会場 / アイテムえひめ大展示場 C 有料
4/3(日)~6/12(日)	借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	現実 (リアル) と虚構 (ファンタジー) を融合 (フェージョン) させる。映画美術の神様、種田陽平が手掛けるスタジオジブリと小人たちの世界。本展では「借りぐらしのアリエッティ」の世界を巨大なセットで表現します。開館時間 / 9:40 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで) 会場 / 愛媛県美術館 有料



二之丸史跡庭園 抹茶接待

●会場／聚楽亭 ●入園料／大人100円 ●一服300円

4月 9日・10日・23日・24日・29日祝・30日

5月 1日・2月・3火祝・4水祝・5木祝・
14日・15日・21日・22日・28日・29日

第5回企画展 テーマ展示 日露戦争と明治のジャーナリズム2 バルチック艦隊と真之

平成23年3月1日(火)～平成24年2月26日(日)

坂の上の雲ミュージアムでは、日露戦争を明治時代のジャーナリズムの視点から捉えるシリーズ「日露戦争と明治のジャーナリズム」の第2回目として、バルチック艦隊の成立と航海、それに対応した秋山真之の思索の跡に焦点をあてます。

坂の上の雲ミュージアム SAKA NO UE NO KUMO MUSEUM

休館日：毎週月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日休館）

開館時間：午前9時～午後6時30分（入館は午後6時まで）

観覧料：一般 400円(320円) 高校生 200円(100円) ※中学生以下は無料
高齢者（松山市内に居住する65歳以上）200円(160円) 団体割引料金

〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地 TEL089-915-2600 FAX089-915-3600

<http://www.sakanouenokumomuseum.jp/>

POWER OF UNITY!

東京ヤクルトスワローズ

VS

広島東洋カープ

5/7(土) 18:00～

5/8(日) 14:00～

場所：坊っちゃんスタジアム

つばくろうといっしょにスタジアムを体験しよう!!
グラウンド体験ツアー 5/8(日)試合終了後

デーゲーム終了後、
熱いグラウンドに入ってみませんか？

※入場の際、
観戦チケットの半券が必要です。

お問い合わせ

☎089-935-6748 (東京ヤクルト公式戦運営事務局)

〈財松山観光コンベンション協会内〉

チケットに

に関するお問い合わせ▶ ☎089-947-3535 (デューク松山)

ミュージカル 誓いのコイン ロシア兵をもてなした松山

平成23年4月9日(土)～平成24年3月中旬予定

あらすじ

日露戦争時、松山はのべ数千人のロシア捕虜を受け入れ、ロシア人町まできて、思ひがけないにぎわいをみせた。一方、衛戍（えいじゆ）病院では多くの負傷兵を治療し、献身的な看護が行われていた。目に傷を負った青年将校ニコライは、日本人をうらんでいたが、ロシア語を話せる看護婦サチの真心に触れ、しだいに心を開いていく。多くの捕虜が松山のおもてなしの心を知り、日露の交流が深まっていったものの、戦争という残酷な現実は次々に悲しみを生み出す。互いに惹かれあう、サチとニコライは平和な未来を信じ、共に歩む将来を夢見るが…。

西日本初! 地域文化発信の常設劇場

坊っちゃん劇場

愛媛県東温市見奈良1125 Fax.089(955)5830

お問い合わせ ☎089-955-1174

<http://www.botchan.co.jp/> 坊っちゃん劇場

検索

公演日程・料金については、ホームページをご覧ください



事業報告

「平城遷都1300年祭 松山の物産と観光展(奈良市)」

平城遷都1300年祭は、奈良市各地で4月24日～11月7日まで開催された記念事業で、開催期間中は定期的に全国から多数の市町村が出展PRを行っていた。松山市と当協会では、「松山の物産と観光展」として、平成22年10月1日(金)～2日(土)の2日間メイン会場である奈良市の平城宮跡交流広場に出展参加し、松山の魅力をPRした。今回は、初の試みとして松山市と

関わりのある横須賀市や同じ四国内である高知市・徳島県にも協力依頼し、内容の充実したイベントが開催できた。

また、当日は天候にも恵まれ、イベント会場内は地元住民をはじめ、全国各地からの旅行者等、大勢の人々で賑わい「坂の上の雲」のまち松山の魅力を十分にPRすることができた。



■松山の物産コーナーを訪れた「せんとくん」

■物産販売の様子

平成22年度「松山愛郷会物産展」

平成22年度「松山愛郷会物産展」は、平成22年10月14日(木)に、東京近郊に在住する松山出身者で組織された「松山愛郷会総会」において、東京都のグランドプリンスホテル赤坂で実施した。会場は、約300名の参加者で賑わい、「タルト」「坊っちゃん団子」「じゃこ天」等、幅広く松山の物産を紹介し、故郷を懐かしんでいただいた。

12月5日より第2部の放映が開始されたNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」をパンフレットやポスター等でPRし、また司馬遼太郎記念財団認定商品を販売するなど、「坂の上の雲」のまち松山の魅力を積極的にアピールすることができた。



■物産販売の様子

■「坂の上の雲」許諾商品

平成22年度「松山の観光展(台湾)」

松山の観光展(台湾)事業は、昨年から実施している松山市の松山空港と台北市の松山空港とをチャーター便で結ぶという“夢の架け橋”的実現に向けての継続事業として、台湾からの誘客促進及び松山市と台湾・台北市との交流拡大を図るため、平成22年11月20日(土)～23日(火)までの4日間、台北市政府庁舎1Fホールや新光三越百貨イベント広場において開催した。

今回のイベントでは、愛媛県と広島県とも連携し、広域観光PRや愛媛県の特産品である“みかん”的無料配布、松山を中心とした特産品の紹介等の実施により、台北市民に対し幅広く松山のPRを行った。

また、台北市政府・外交部亞東関係協会・交通部觀光局・中華航空等の表敬訪問を行い、引き続き観光・文化・スポーツなどの交流促進及び「松山区と松山市」を結ぶチャーター便の就航について協力を依頼した。

そして、台北市松山区にある松山慈祐宮で交流レセプションを開催し、今年の600人を上回る800人が、平成23年度に松山に来ていただける確約が得られるなど、多大な成果を挙げることができた。来年度以降に関しても継続して台湾との交流事業を展開していく、“夢の架け橋”的実現に向けて事業を進めていくものである。



■台北市政府表敬訪問

新賛助会員紹介

ご入会いただきありがとうございました。
これからもよろしくお願いします。(50音順)

会員名	代表者名
(有)イグジット オーガニゼイション	代表取締役 出口 裕家
お茶屋 乙鳥	園延 愛
(有)耕一路広告社	代表取締役 山本 篤

新規賛助会員募集

当協会は、松山市及び愛媛県が有する文化的、社会的、経済的特性を生かし、国内外の観光客及び国内・国際コンベンションの誘致支援等を行うことにより、松山市の観光・物産振興と松山市及び愛媛県におけるコンベンションの振興を図り、もって国際的な相互理解の増進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に資することを目的とした協会です。

つきましては、当協会の趣旨にご賛同いただき、ご入会いただきますようよろしくお願いいたします。

1. 賛助会員(年会費)

団体・個人 1口 10,000円(1口以上)

2. 賛助会員の方の特典

- ①協会機関紙の提供
- ②コンベンションカレンダーの提供
- ③コンベンション統計の提供
- ④コンベンション情報の提供
- ⑤協会主催の各種セミナー等のご案内など
- ⑥ホームページでの掲載

3. 問い合せ先

(財)松山観光コンベンション協会 総務企画部
TEL 089-935-7511 FAX 089-921-0286

第20回 国際ミーティング・エキスポ(IME2010)に出展

日本で唯一のコンベンショントレードショー、第20回国際ミーティング・エキスポが、観光庁、日本政府観光局(JNTO)、日本コングレス・コンベンション・ピューロー(JCCB)主催のもと、平成22年12月7日(火)、8日(水)に東京国際フォーラムで開催され、2日間を通して3,021名の来場があった。

今回も昨年に引き続き、四国地区のコンベンション推進団体である(財)高松観光コンベンション・ピューロー、(財)徳島県観光協会、(財)高知県観光コンベ

ンション協会と当協会の4団体で共同ブースを出展し、約150名の来場者があった。

コンベンションを開催する学術機関、各種団体、企業インセンティブ等主催者に対して、松山のコンベンション施設をはじめ宿泊施設、観光地、支援制度を紹介したほか、ブース前では松山マドンナ大使が来場者にパンフレットやみかんを配布、また、物産品を紹介するなど、「坂の上の雲」のまち松山の魅力を積極的にPRすることができた。



■松山の魅力をアピール

■コンベンション支援制度をご紹介

第16回 中国・四国地区コンベンション誘致懇談会

平成23年2月9日(水)、第16回中国・四国地区コンベンション誘致懇談会をANAインターナショナルホテル東京において開催し、128名の来場者がいた。この懇談会は、中国・四国地区的コンベンション推進団体で組織する協議会が、首都圏のコンベンション(学会・会議・大会)主催者を招待して各種情報を提供し、コンベンション開催を積極的に推進することを目的に毎年実施しており、会場内には、各団体のブースが設置され、当協会のブースでは、松山の特産品の展示や試食、地酒の試飲などを来場者に提供し、

松山でのコンベンション開催に向けてPRを行った。

今年の誘致懇談会では、スタンプラリーを実施したこと、大勢の方々に各ブースを回っていただくことができ、8団体のブースは常に来場者であふれていた。松山ブースにも、57団体89名の方が訪れ松山の地酒や名産品を味わってもらいながら、会場案内や支援内容、交通アクセス・観光情報等について、積極的に情報交換を行うことができた。



■お楽しみ抽選会

■松山でのコンベンションをPR

平成22年度「松山の物産と観光展」(札幌市)

「平成22年度 松山の物産と観光展」は、「第12回 四国・松山の物産と観光展」として、平成23年2月24日(木)から3月2日(水)までの7日間、札幌市の「さっぽろ東急百貨店 9階催物場」で開催した。

札幌市の開催は今回で12回目を数え、知名度も定着し、開催を楽しみに待ちわびていた来場者も数多く見受けられた。

今年も、例年以上に、百貨店側もお客様の動員策に力を入れており、また、各出展者も特別限定商品を多数用意したほか、初の出展業者も2社参加するなど、魅力のある物産と観光展が開催できた。

特に、まつやま農林水産物ブランドの「せとか」や「銀鱗いりこ」、人気の「じゃこ天」を全面に出したPRやイベント会場内では、事前の新聞折込チラシの配布やテレビ出演、また、松山市長による各出展業者の

PRや会期中の会場テレビ生中継などの影響も大きく、天候にも恵まれ、動員数は昨年を上回り、4,000万円を超える売り上げがあった。

観光部門としては、3月27日からの松山・札幌線の直行便の就航や昨年末に放送したばかりのスペシャルドラマ「坂の上の雲」第2部を紹介したパネル展等、札幌の方々にとって、タイムリーな情報の提供や「坂の上の雲」の許諾商品のPRを行った。また、出展業者の商品にちなんだ正岡子規の俳句の紹介や投句箱を設置するなど、北海道の方々に「坂の上の雲」のまち松山の魅力を十分にPRし、多大な成果を上げることができた。

来年に向けては、新規出展業者の発掘や新商品の販売も視野に入れつつ、より一層、内容を充実させ、松山市への観光客誘致へ繋げていきたい。



■野志克仁松山市長による「せとか」の配布

■会場の様子

平成23年度主要コンベンション情報

開催月日	コンベンション名	開催場所	参加者数	開催月日	コンベンション名	開催場所	参加者数
5月27日	2011JAIFA年次大会in四国	ひめぎんホール (愛媛県県民文化会館)	3,500人	9月15日~17日	第44回照明学会全国大会	愛媛大学 城北キャンパス	600人
6月30日・7月1日	第36回海洋開発シンポジウム	ひめぎんホール (愛媛県県民文化会館)	500人	10月5日・6日	第42回日本看護学会一看護協会一 学術集会	ひめぎんホール (愛媛県県民文化会館)	1,800人
7月21日~23日	日本ペインクリニック学会第45回大会 第33回日本疼痛学会	ひめぎんホール (愛媛県県民文化会館)	2,200人	10月15日・16日	日本口腔インプラント学会 第31回中国四国学術大会	松山全日空ホテル	600人
8月23日・24日	第57回全国カンキツ研究大会	ひめぎんホール (愛媛県県民文化会館)	1,000人	10月20日・21日	第75回全国学校歯科保健研究大会	ひめぎんホール (愛媛県県民文化会館)	2,000人
9月1日・2日	第34回中国・四国地区公民館研究集会兼 平成23年度愛媛県公民館研究大会	ひめぎんホール (愛媛県県民文化会館)	1,570人	11月30日~12月2日	第55回宇宙科学技術連合会講演会	ひめぎんホール (愛媛県県民文化会館)	800人
9月7日~9日	土木学会全国大会	愛媛大学 城北キャンパス	5,000人	12月3日	中・四国保育学生研究大会	松山東雲短期大学	1,200人

※東北地方太平洋沖地震による影響を考慮し、開催規模の縮小、延期、中止となる場合もございますのでご了承ください。

コンベンション支援のご案内

愛媛県・松山市でコンベンション開催をご検討されている場合には、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ <http://www.mcvb.jp/> (財)松山観光コンベンション協会 コンベンション推進部 ☎089-935-6711



3つのコースがあります!

道後周辺



●集合場所

「坊っちゃんカラクリ時計」の横・
道後温泉観光会館1階(ガイド待機所)

●案内時間

午前 9:30~12:00 年中無休
(12月29日~1月4日を除く)

午後 13:30~16:00 土・日・祝日のみ
(12月29日~1月4日を除く)

●ご案内コース

放生園、坊っちゃんカラクリ時計、鷺石、道後温泉駅、椿の湯・聖徳太子の碑文、道後温泉本館・又新殿、円満寺、宝厳寺、伊佐爾波神社、石手寺など

●利用料

無料。ただし、ご案内中の交通費及び入館料・飲食代金等を要する場合は、各自負担。

私たちが松山を案内するぞなもし

一般のお客様：無料 旅行会社様：有料

松山観光ボランティアガイド

観光ボランティアとは、松山のオススメの観光スポットを案内してくれる人たちのことです。松山を訪れたなら、地域を知り尽くした観光ボランティアの方々に案内をお願いしてみてはいかがでしょう。地元の人でしか知らないようなオススメのお店や言い伝えなど、ガイドブックには載っていない情報が聞けるかもしれませんよ!



松山城

●集合場所

松山城山頂ロープウェイを降りたところ(長者ヶ平)にあるボランティアガイド休憩室にお立ち寄りいただくか、巡回している場合は直接お申し込みください。

●案内時間

午前 9:00~12:00 午後 13:00~16:00

いずれも年中無休(12月29日~1月4日を除く)

●ご案内コース

石垣、天守閣、天守閣からの展望など

●利用料

無料。別途ロープウェイまたはリフト利用料(大人往復500円)と城閣入場料(大人500円)が必要。



坂の上の雲ミュージアム 周辺まち歩き

●集合場所

坂の上の雲ミュージアム2階ロビー(ガイド待機所)

●案内時間(約60分)

午前 10:30~ 午後 14:00~

土・日・祝日のみ(12月29日~1月4日を除く)

●ご案内コース

【出発】坂の上の雲ミュージアム2階ロビー(ガイド待機所)→愛松亭跡碑→萬翠荘→松山中学校跡→松風会ゆかりの地→城戸屋旅館跡→愚陀佛庵跡→【解散】大街道入口(一番町側)

●利用料

無料。ただし、ご案内中の交通費及び入館料・飲食代金等を要する場合は、各自負担。

ご予約・
お問い合わせ

松山観光ボランティアガイドの会事務局 ((財)松山観光コンベンション協会)
☎089-935-7511 FAX:089-921-0286 E-mail:matukan2@abeam.ocn.ne.jp

※1名様からお受けいたします。ご予約は1週間くらい前までにお申し込みください。
都合により対応できないこともありますので、あらかじめご了承ください。

●松山観光ボランティアガイドの会

<http://www.matsuyama-guide.jp/>

2011 松山マドンナ大使紹介

全国で松山をPRする2011松山マドンナ大使の3人をご紹介します。



佐藤 葵

松山には、松山城をはじめとする歴史ある建物から、坂の上の雲ミュージアムなど、他では見ることのできない建造物が多くあります。また、お祭りやイベント、多くの特産品など、季節ごとに楽しみもあります。このような環境で育った松山の温もりを味わってください。

毛利 善美

私のお薦めスポットは県庁のバックに見える緑に囲まれた松山城です。ロープウェイで登るもよし、リフトで登るもまたよし、どの角度から見てもお城好きの方には必見です。自然のおいしい空気を味わいながら松山を眺めてみませんか。また、夜はライトアップされますので、昼間とはまた違ったロマンチックな表情を見せてくれます。

吉村 美希

松山は、自然も満喫できる都市です。松山城に登ると、市内だけではなく、瀬戸内の島々も一望できます。できれば春に訪れ、きれいに咲く桜も堪能していただきたいです。また、タルトや坊っちゃん団子、母恵夢などのお菓子をはじめ、食べ物も美味しいので召し上がってみてください。魅力ある松山で、心温かな松山の人たちと、皆さまをお待ちしております。



お問い合わせ先・発行

(財)松山観光コンベンション協会

〒790-0004 愛媛県松山市大街道3丁目2-46

【総務企画部】 【観光振興部】 TEL.089-935-7511
E-mail:matukan1@topaz.ocn.ne.jp

【コンベンション推進部】 TEL.089-935-6711
E-mail:matsucon@aurora.ocn.ne.jp

FAX.089-921-0286

<http://www.mcvb.jp>



この印刷物は、E3PAのシルバー基準に適合した
地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA : 環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>